

●奥底にあるもの 歴史への誘い

流れるものや、くり返される自然の営みをみていると、私たちの身の回りのすべてが、その内部に「固有の時間」という蓄え、言い換えれば「歴史」というものを持っていることが分かります。現在とこの瞬間に立ち止まってみることによって、「いま、ここにあるもの」の奥底に秘められたものに触れることができる場合も多いといえます。

そして、その時に、日常的な時間の中で過ごしている自分自身が、ある大きなものに包まれ、支えられていることに気づくのです。

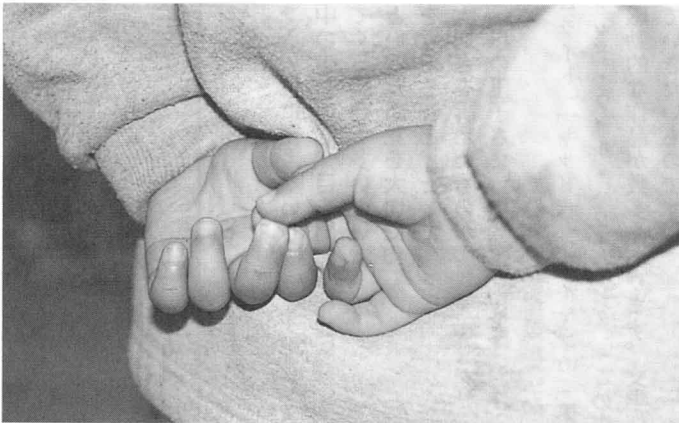
考えてみよう

■窓の外にあるものをゆっくり見つけてみよう。そして、感じたことを書きとめてみよう。

※空、雲、木々の葉、枯れ葉、道路、山、街角、雑踏、など

※感じること  
柔らかさ 色彩 旅への思い

■次の写真を見て、感じたこと、考えたことを自由に書いてみよう。



※不安、羞恥、ためらい、喜び、しぐさ、語らい、など